



未来への一步

～Let's create the future together～

第099号

はりゴ

発行：兵庫県立播磨特別支援学校

〒679-4002 たつの市揖西町中垣内乙135番地1

TEL (0791) 66-0091 URL <http://www.hyogo-c.ed.jp/~harima-sn/>

FAX (0791) 66-0092 E-mail harima-sn@hyogo-c.ed.jp

第43回体育祭

心は一つ 播磨の空に咲かせよう
友情と勝利の花

10月25日(土)に、ご来賓や保護者と家族や卒業生等たくさんの方々にお越しいただき、体育祭が盛大に開催されました。曇り空で、途中通り雨での中断もありましたが、グラウンドを思い切り走る姿や、競技に集中して一生懸命に打ち込む姿が印象的でした。今年度初めての演技、「全校演技 応援合戦」では、各学年で手作りの応援グッズを用いて、工夫をこらしたダンスや他学年へエールを送ることもできました。

結果は3年生が見事優勝しましたが、白熱した戦いでした。クラスや学年の絆が深まり、大変盛り上がりました。

なお今年度もイオン社会福祉基金の取組として、マックスバリュ龍野西店様より、生徒へのお弁当や飲み物等の差入れを頂きました。本当にありがとうございました。



10月25日(土)～27日(月)滋賀県にて、第24回全国障害者スポーツ大会「わた SHIGA 輝く障スポ 2025」が開催されました。本校生徒2名が兵庫県の代表選手として派遣され、陸上競技に出場しました。全国障害者スポーツ大会に出場するにあたり、10月15日(水)に兵庫県代表選手が集まり、結団式が行われました。陸上競技に出場した2名の生徒も参加し、激励のお言葉をいただき、兵庫県代表選手としてたくさんの方々の思いを背負い、競技に参加するということを改めて感じ、「気が引き締まりました。頑張ります。」と凛々しい表情で語っていました。本番は雨天の肌寒い中でしたが、今出せる力を精一杯出し切れたように思います。27日(月)の閉会式では、兵庫県団代表としてプラカードや県旗を持って退場しました。

ハードスケジュールでしたが、空き時間にみんなで近江ちゃんぽんを食べたり、他校の生徒と交流したりと貴重な経験ができました。2名の生徒は「出場できて良かった。素敵な思い出ができた。また、チャレンジしたい。」と話していました。今回の大会に際しまして、たくさんの方々に応援していただきました。本当にありがとうございました。

わた SHIGA 輝く障スポ 2025



寄宿舎のハロウィン行事

10月29日(水) 19時からハロウィン行事を行いました。今年度は3年生の舎生から要望のあった肝試しを久しぶりにに行い、仮装した職員にシールを貼ってもらいながら各所を回りました。急に現れる職員に驚いたり、笑いながら部屋の中を想像してみたりと楽しい時間を一緒に回った仲間と共有できました。肝試しのあとは、舎生一人ひとりの仮装の紹介をしました。木枯し紋次郎やピカチュウ、メイドカフェのメイドなどそれぞれに個性が出ていて、紹介するたびに盛り上がりました。



地震想定避難訓練

11月5日(水)、教育棟において地震を想定した避難訓練を実施しました。当日は午前10時にスマホ等に緊急速報メールが配信されることになっていましたので、特別に校内でスマホを持って授業を受け、実際にメールの受信を体験しました。それを受けて事前に学習していたシェイクアウト訓練を実施し、安全を確保しながら、学校東側の旧教職員住宅への避難を行いました。緊張感を持って、迅速に避難することができました。

教頭先生の講評では、阪神・淡路大震災や能登大地震を例に、「地震はいつ起きるかわからない」ことを再確認しました。災害に備えて、避難場所の確認や災害持ち出しバックの準備など、この訓練を機会に今一度考えていくことをお願いします。



第3学年性教育講演会

11月14日(金)にみさ助産院の前田美佐子先生を講師にお招きし、性教育講演会を実施しました。1年生から講演をしていただいて3回目ということもあり、今まで講演していただいた内容の振り返りから始まりました。卒業後は学校という枠の中からはずれて守ってもらうものがなくなります。そして、これからは自分で判断して行動できる一助になるような講演会でした。あと3カ月あまりで卒業して実社会へ旅立っていきます。そのような中、人間関係や性に対する問題解決法として、生徒たちは自分のこととして真剣に耳を傾けていました。

今回学んだことをこれからの実生活でも活かしていけるように心がけていってほしいと思います。

